

第3章 目標の達成状況と施策の実施状況



刈谷市環境キャラクター「キー坊」

第3章 目標の達成状況と施策の実施状況

1 環境指標及び目標の達成状況

環境基本計画では、達成状況を点検・評価するための「ものさし」として、環境指標を設定しています。基本方針1～3については、環境に配慮した市民、事業者の行動、地域基盤づくりを通じた成果を把握するため、低炭素、資源循環、自然共生、安全安心の4つの取組分野ごとに環境指標を設定しました。また、基本方針4については、参加と協働の促進を表す環境指標を設定しました。

なお、環境指標は、毎年達成状況を確認し、目標を達成した項目等については、目標の見直しを随時行うこととします。

基本方針 取組分野		環境指標	基準値	現状値 (平成27年度)	目標値(※1) (平成36年度)
基本方針1		環境にやさしい暮らしの実践			
基本方針2		環境と産業の共生			
基本方針3		持続可能な地域基盤づくり			
取組 分野	低炭素	太陽光発電・太陽熱利用システムを設置した住宅戸数			
		家庭でエネルギーを創り出す、太陽光発電・太陽熱利用システムの普及による低炭素型社会の実現を望ましい状態として設定します。	2,526 戸 (平成25年度末 補助件数)	3,158 戸	7,000 戸以上
		EV・PHVの普及台数			
		自動車が主要な交通手段となっている本市において、自動車からのCO ₂ 排出量の削減は重要であり、低公害車の普及による低炭素型社会の実現を望ましい状態として設定します。	94 台 (平成25年度末 補助件数)	194 台	1,200 台以上
		1世帯当たりの年間電気・ガス使用量			
		家庭でのCO ₂ 排出量の主要因である、電気・ガス等の使用量削減を行うことで、CO ₂ 排出量の削減による低炭素型社会の実現が望ましい状態として設定します。	【電気】 5,222kWh 【ガス】 374m ³ (平成25年度)	【電気】 4,698kWh 【ガス】 356m ³	モニタリング指標（目標値は設定せず、推移を把握）
		省エネルギーに心がけている市民の割合			
		低炭素型社会の実現に向けて、CO ₂ 排出量が大幅に増加している家庭の省エネ対策が重要であり、省エネを心がける市民が増加することを望ましい状態として設定します。	(※2) 85.4% (平成24年度)	84.3% (平成26年度)	90%以上

※1 平成27年3月策定時の目標値（以下同じ）。また、目標値について、平成32年度としているものは第7次刈谷市総合計画等の目標年度とあわせて設定しています。各計画の改定後は、新たな目標の設定を検討します。

※2 概ね2年に1度実施される市民意識調査の調査実績です。

基本方針 取組分野		環境指標	基準値	現状値 (平成 27 年度)	目標値(※1) (平成 36 年度)
取組 分野	資源 循環	ごみの年間総排出量			
		ごみの削減には発生抑制が重要であり、一人ひとりができる発生抑制行動等による、ごみの減量化の実現を望ましい状態として設定します。	55,379 t (平成 25 年度)	55,355 t	48,500t 以下 (平成 32 年度)
		1 人 1 日当たりのごみ排出量			
		ごみの削減には発生抑制が重要であり、一人ひとりができる発生抑制行動等による、ごみの減量化の実現を望ましい状態として設定します。	1,028g/人・日 (平成 25 年度)	1,013g/人・日	830g/人・日 (平成 32 年度)
		リサイクル率			
		一人ひとりがごみの発生抑制や分別収集を適切に行うことによる、ごみの排出量の減少やリサイクル率の向上の実現が望ましい状態として設定します。	20.1% (平成 25 年度)	18.6%	40%以上 (平成 32 年度)

基本方針 取組分野		環境指標	基準値	現状値 (平成 27 年度)	目標値(※1) (平成 36 年度)
取組 分野	自然 共生	1人当たりの都市公園面積			
		都市公園は、潤いのある生活空間を創出するだけでなく、生物の生息する場としても重要な役割を果たしており、都市公園面積の増加を望ましい状態として設定します。	8.5m ² /人 (平成 25 年度末)	8.4m ² /人 (平成 26 年度末)	9m ² /人以上 (平成32年度)
		緑や自然を身近に感じることができると思う市民の割合			
		都市化や宅地化が進む本市において、自然環境は保全すべき重要な環境要素であり、緑や自然を身近に感じる市民の割合の増加を望ましい状態として設定します。	(※2) 65.7% (平成 24 年度)	63.5% (平成26年度)	70%以上 (平成 32 年度)
		下水道普及率			
		河川を始めとする、水質環境の保全に結びつき、また水辺生物の生息環境の維持・向上に貢献するものである下水道普及率上昇による河川の水質の改善を望ましい状態として設定します。	90.7% (平成 25 年度末)	91.6%	95%以上 (平成 32 年度)
		下水道水洗化率			
		河川を始めとする、水質環境の保全に結びつき、また水辺生物の生息環境の維持・向上に貢献するものである下水道水洗化率上昇による河川の水質の改善を望ましい状態として設定します。	80.8% (平成 25 年度末)	81.3%	93%以上 (平成 32 年度)

基本方針 取組分野		環境指標	基準値	現状値 (平成 27 年度)	目標値(※1) (平成 36 年度)
取組 分野	安全 安心	環境基準の達成状況			
		環境基準がすべて満たされ、安全安心で快適に暮らせる社会を望ましい状態として設定します。	平成 25 年度の 主な未達成項目 「光化学オキシダント」 「境川上流のBOD」	平成 27 年度の 主な未達成項目 「光化学オキシダント」 「ダイオキシン」	全項目及び全 地点での達成

基本方針	環境指標	基準値	現状値 (平成 27 年度)	目標値(※1) (平成 36 年度)
基本方針 4 参加と協働による環境都市づくり				
	環境関連講座への年間の参加者数			
	子どもから大人まで学ぶ環境関連講座を重視し、市民の環境への意識向上や参加、協働の普及推進を目的とした環境講座の参加者人数の増加を望ましい状態として設定します。	764 人 (平成 25 年度)	638 人	1,500 人以上
	環境支援員育成講座の修了者数			
	環境支援員は、環境教育の指導者として重要な役割を果たすため、環境支援員育成講座の修了者数の増加を望ましい状態として設定します。	46 人 (平成 25 年度末)	46 人	100 人以上
	地域活動やボランティア活動が活発であると思う市民の割合	(※2)		
	地域活動やボランティア活動が活発であると思う市民の割合の増加を望ましい状態として設定します。	58.0% (平成 24 年度)	58.1% (平成26年度)	62%以上 (平成 32 年度)

2 環境施策の実施状況

第2次刈谷市環境基本計画では、環境将来像の実現に向け、行政が主体となって行う環境施策を124項目設定しています。平成27年度の実施状況については、以下のとおりです。

＜基本方針1 環境にやさしい暮らしの実践＞

【決算額単位：千円】

取組項目		実施状況（27年度）	担当部署
低炭素	① 省エネ型のライフスタイルへの変革		
	1) エネルギー使用量やCO ₂ 排出量の見える化の推進		
	＜1＞かりやエコポイント制度を活用した環境家計簿の普及・節電キャンペーンの実施	○エコポイント制度を実施し、市民の省エネルギー活動を促進しました。 ・エコポイント参加実績…3,516世帯（平成28年3月31日現在） ・環境家計簿の提出…224世帯 ・節電キャンペーンによる節電…221世帯 ・CO ₂ 削減量…26,901kg	環境推進課
	＜2＞省エネナビ・ワットアワーマーターの貸出し	○省エネナビ・ワットアワーマーター等の省エネ啓発機器の貸出しを行いました。また、エコポイントプロジェクト発行メニューの一つとして、機器を借用した人に、エコポイントを発行しました。	環境推進課
	＜3＞HEMSの普及促進	○HEMSの設置を行った人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 ・補助金交付件数…61件 【決算額 1,220】	環境推進課
	＜4＞小中学生及びその家族を対象としたエコライフデー（CO ₂ 削減量把握）の実施	○小学2年生、小学5年生、中学2年生及びその家族を対象として、エコライフデーを実施しました。 ・参加者数…12,009人 ・CO ₂ 削減量…4,183kg	環境推進課
	2) 楽しみながら省エネ行動が進む取組の推進		
	＜5＞グリーンカーテンコンテスト・グリーンカーテンづくり講座の実施	○グリーンカーテンコンテストを開催し、市民・事業者等によるグリーンカーテン作成意欲を高めました。 ・家庭部門 コンテスト参加者…176人 実績報告者…97人 ・事業所部門 コンテスト参加者…4事業所 実績報告書…4事業所 【決算額 245】 ○市民を対象としたグリーンカーテンづくり講座を実施し、実演を交えたグリーンカーテンの作り方を学ぶとともに、環境に対する意識の向上を図りました。 ・参加人数…18人 【決算額 18】	環境推進課
	＜6＞公共施設等へのグリーンカーテンの設置	○全幼稚園、全保育園、全小学校、全中学校、その他各公共施設等において、地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンづくりを実施し、各施設それぞれ趣向を凝らしたグリーンカーテンを作成しました。 【決算額 1,508】	環境推進課
	＜7＞エコドライブの普及啓発	○省エネ啓発機器の一つである、エコドライブナビの貸出しを行い、エコドライブの普及啓発を行いました。	環境推進課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
低 炭 素	② 創エネ・省エネ設備の導入		
	1) 家庭における創エネ・省エネ設備の普及促進		
	<8>太陽光発電システム設置費補助の実施	○太陽光発電システムを設置した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 ・補助金交付件数…252 件 ・総出力値…1263.7kW 【決算額 48,374】	環境推進課
	<9>太陽熱利用システム設置費補助の実施	○太陽熱利用システムを設置した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 ・補助金交付件数…5 件 【決算額 150】	環境推進課
	<10>家庭用燃料電池（エネファーム）設置費補助の実施	○高効率エネルギーシステム（エネファーム）を設置した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 ・補助金交付件数…45 件 【決算額 4,500】	環境推進課
	③ エコカーの普及拡大		
	1) エコカーの普及促進		
	<11>エコカーの購入費補助の実施	○低公害車を新車購入した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 ・補助金交付件数…1,311 台（内訳：EV 6 台、PHV 39 台、HV 1,260 台、FCV 6 台） 【決算額 78,372】	環境推進課
	<12>燃料電池自動車の普及に向けた支援	○燃料電池自動車を新車購入した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 ・補助金交付件数…6 台 【決算額 2,352】	環境推進課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
資源循環	④ 3 Rの実施		
	1) ごみの排出抑制・分別の徹底によるごみ減量、再資源化の推進		
	＜13＞生ごみ処理機器購入費補助の実施	○生ごみ処理機器等を購入した人に、補助金を交付しました。 ・生ごみ処理機器補助基数…24 基 ・コンポスト容器補助基数…7 基 【決算額 667】	環境推進課
	＜14＞クリーンカレンダー、ごみの分け方・出し方ガイドブックの配布	○かりやクリーンカレンダーを全戸配布し、適正な分別排出方法等の周知啓発を図りました。また、市民だよりやホームページも活用して分別の啓発を図りました。	ごみ減量 推進課
	＜15＞資源回収奨励報償金、ごみ分別収集協力報償金の交付	○自主的に資源回収活動を行う市民団体に報償金を交付しました。 ・実施団体数…130 団体 ・回収量…3, 321, 386kg 【決算額 22, 301】	環境推進課
		○ごみ分別収集協力報償金を交付することにより、分別の推進を図りました。 【決算額 4, 665】	ごみ減量 推進課
	＜16＞小売店とのレジ袋削減に関する協定の締結	○レジ袋の無料配布の中止に賛同いただいた事業所と協定を締結し、マイバッグの持参を推進しました。 ・協定締結店舗…13 事業者 19 店舗	ごみ減量 推進課
	＜17＞家庭ごみ有料化の検討	○学識経験者、各種団体の代表者、事業所関係者、関係行政機関の職員などで組織するごみ減量化推進会議で、ごみの有料化・減量化等について調査・検討を実施しました。 ・ごみ減量化推進会議…1 回開催 【決算額 71】	ごみ減量 推進課
	＜18＞小型家電リサイクルの推進	○かりやクリーンカレンダーを全戸配布し、適正な分別排出方法、小型家電リサイクル等の周知啓発を図りました。 ○平成 27 年 7 月から、宅配便を活用した小型家電を含む家庭用廃パソコンの自宅回収を始めました。 ○平成 27 年 8 月から、不燃物埋立場において、市民の直接搬入による家庭用廃パソコンの無料回収を始めました。	ごみ減量 推進課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
資源循環	2) 不用となった日用品等の再利用の促進		
	＜19＞リサイクルプラザの利用促進	○リサイクルプラザに関する情報提供を行いました。 ・市民だよりへの掲載…2 回 ・かりや衣浦つながるねットへの掲載…通年 ・ホームページへの掲載 ・パンフレット（ごみの出し方・分け方ガイドブック等）の配布	ごみ減量 推進課
		○リサイクルプラザK Cに関する情報提供を行いました。 ・市民だよりへの掲載…6 回 ・ホームページへの掲載 ・パンフレットの作成・配布	刈谷知立 環境組合
	⑤ ごみの散乱の防止		
	1) 市民による美化活動の推進		
	＜20＞清掃活動を行うボランティア団体の支援	○市内の道路、河川などで清掃活動を行うボランティア団体に対し、ごみ袋の配布、保険加入料の負担などの支援を実施しました。（クリーンサポート刈谷） ・保険加入者数…68 団体(1, 115 人) 【決算額 605】	土木管理課
		○公園愛護会（遊園、児童遊園等含む）に活動補助金の交付等を行い、育成・活性化を図りました。 ・団体数…102 団体（公園 70、児童遊園 32） ・公園数…121 公園（公園 81、児童遊園 40） 【決算額 7, 492】	公園緑地課
		○地区（11 地区）が行う河川の清掃、草刈などの河川愛護活動に対し、報償金を交付しました。 【決算額 975】	雨水対策課
	2) 不法投棄の防止		
	＜21＞ごみの散乱防止の普及啓発	○地域やごみ散乱防止推進員と連携を図り、監視・連絡体制の強化に努めました。	ごみ減量 推進課
	＜22＞ごみ散乱防止推進員、地域環境保全委員との連携による不法投棄の監視・連絡	○地域環境保全委員より不法投棄発見の連絡が入った際には、関係機関と連携して速やかに対応を実施しました。 ○不法投棄を防止するため、監視カメラを設置するとともに、地域やごみ散乱防止推進員と連携を図り、監視・連絡体制の強化に努めました。	環境推進課 ごみ減量 推進課

取組項目		実施状況（27年度）	担当部署
自然共生	⑥ 身近な自然環境の保全・創出		
	1) 生活排水対策の推進		
	<23>下水道供用区域の拡大	○下水道の計画的な整備を実施しました。 ・整備面積…9.9ha 【決算額 900,285】	下水道建設課
	<24>下水道供用区域における未接続世帯への接続の啓発	○下水道供用開始区域及び供用区域の未接続者に対し、市民日より及び受益者負担金説明会ならびに個別訪問により接続を呼びかけました。 ○下水道整備工事区域の住民に対し説明会を開催し、下水道への接続を呼びかけました。 ○下水道整備による生活改善に関する意識、知識を深める目的で、小学校4年生から中学校3年生までを対象にポスターコンクール（応募数1,242人）を実施しました。 ○下水道が使えるようになって2年が過ぎた未接続世帯へ接続のお願いの通知を送付しました。 【決算額 2,133】	下水道管理課
	<25>合併処理浄化槽設置整備補助の実施	○合併処理浄化槽を設置した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 ・補助金交付件数…25件 【決算額 8,400】	環境推進課
	<26>生活排水対策に係る普及啓発	○広報誌やパンフレット配布等で啓発を行いました。また、水生生物調査及び学習会を行いました。 ○市内の宅地などに合併処理浄化槽を設置した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 （詳細は<25>参照）	環境推進課
	2) 家庭で花や緑を育てる取組の推進		
	<27>民有地緑化補助の実施	○緑化推進基金の運用益を活用し、市内民有地の屋上・生垣の緑化に対して補助を行いました。 【決算額 167】	公園緑地課
	<28>グリーンカーテンコンテスト・グリーンカーテンづくり講座（再掲5）	○グリーンカーテンコンテストを開催し、市民・事業者等によるグリーンカーテン作成意欲を高めました。 （詳細は<5>参照） ○市民を対象としたグリーンカーテンづくり講座を実施し、実演を交えたグリーンカーテンの作り方を学ぶとともに、環境に対する意識の向上を図りました。 （詳細は<5>参照）	環境推進課
	<29>植木の即売会、苗木の無償配布、造園教室等の緑化イベントの開催	○フローラルガーデンよさみの指定管理者制度、指定事業において、市内の緑化推進のため、植木や草花などの即売会、苗木の無料配布などを行いました。 ・実施期間…2日間 参加者数…約8,116人	公園緑地課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
安全 安心	⑦ 身近な生活環境の保全		
	1) 身近な生活環境の保全に関する市民意識の向上		
	<30>身近な生活環境の保全に関する啓発	○ごみ減量、ごみ分別等に関する出前講座の実施、環境フェア、各種環境講座を通し、環境保全行動の啓発、普及に努めました。	環境推進課
	<31>苦情申立に対する適切な対応	○苦情申立に対し、適切に指導を行いました。 ・平成27年度苦情件数…92件	環境推進課

＜基本方針 2 環境と産業の共生＞

【決算額単位：千円】

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
低炭素	① 事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制		
	1) エネルギー使用量や CO ₂ 排出量の見える化の推進		
	＜32＞環境マネジメントシステムの導入支援	○県と共催で環境マネジメントセミナー及びエコアクション 2.1 イニシアティブプログラムを開催し、市内事業者における環境マネジメントシステムの普及促進を図りました。	環境推進課
	＜33＞BEMS の普及促進	○BEMS の普及促進に向けた情報収集を行いました。	環境推進課
		○BEMS に関連したパンフレットを窓口等で配布しました。	建築課
	2) 各種法令や支援制度等による温室効果ガスの排出抑制		
	＜34＞各種法令に基づく温室効果ガスの排出抑制の徹底	○各施設管理課室に対し、省エネ推進連絡会を開催し、省エネルギー推進の必要性の意識共有や、各種法令に基づく温室効果ガスの排出抑制の周知徹底を図りました。	環境推進課
	＜35＞事業者への支援制度（小規模企業者設備投資促進補助等）を活用した環境投資の推進	○事業の継続・拡大のために一定額以上の設備投資を行う小規模企業者に対して、補助金を交付しました。 ・補助件数…17 件 【決算額 14,908】	商工業振興課
	＜36＞環境負荷低減に寄与する投資に対する支援方法の検討	○かりや eco 事業所の認定を受けた事業所への環境低減に寄与する投資に対する支援方法の実施に向けた情報収集を行いました。	環境推進課
	3) 温室効果ガス排出抑制に関する情報共有とネットワークづくり		
	＜37＞かりや eco 事業所認定制度の検討・実施	○平成 27 年度より eco 事業所認定制度を実施し、環境に配慮した取組を積極的に実施している事業所を「かりや eco 事業所」として認定しました。また、認定を受けた事業所に対し認証ステッカー等の配布を行い、認定事業所の一覧をホームページ等に掲載し、市民に対して PR を行いました。 ・事業所数…30 事業所 (平成 28 年 3 月 31 日現在)	環境推進課
	＜38＞かりやエコマップ等を通じた取組事例の紹介	○平成 26 年度に、市内事業所の先進的な省エネなどの取組を紹介するエコマップを配布し、ホームページへ掲載しました。 ・作成部数…3,000 部	環境推進課
	＜39＞温室効果ガス排出抑制に関する情報提供	○環境基本計画、刈谷市の環境、各種補助制度など温室効果ガス排出抑制に関する情報をホームページ等で公開し、情報発信しました。	環境推進課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
低 炭 素	② 低炭素型製品の開発・製造		
	1) 事業者の低炭素型製品の開発・製造の支援		
	<40>事業者への支援制度（小規模企業者設備投資促進補助、新産業技術開発支援補助等）を活用した環境投資の推進	○事業の継続・拡大のために一定額以上の設備投資を行う小規模企業者に対して、補助金を交付しました。 （詳細は〈35〉参照） ○市内企業が公的試験機関であるあいち産業科学技術総合センター、名古屋市工業研究所及び公益財団法人科学技術交流財団あいちシンクロトン光センターが行う依頼試験等を利用した場合に係る費用の一部を補助しました。 ・補助件数…111 件 【決算額 4,995】	商工業振興課
	<41>環境負荷低減に寄与する投資に対する支援方法の検討（再掲 36）	○かりや eco 事業所の認定を受けた事業所への環境低減に寄与する投資に対する支援方法の実施に向けた情報収集を行いました。（再掲 36）	環境推進課
	<42>かりやエコマップ等を通じた取組事例の紹介（再掲 38）	○平成 26 年度に、市内事業所の先進的な省エネなどの取組を紹介するエコマップを配布し、ホームページへ掲載しました。 （詳細は〈38〉参照）	環境推進課
	2) 低炭素型製品の普及促進		
	<43>エコカーの購入費補助の実施（再掲 11）	○低公害車を新車購入した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 （詳細は〈11〉参照）	環境推進課
	<44>家庭用燃料電池（エネファーム）設置費補助の実施（再掲 10）	○高効率エネルギーシステム（エネファーム）を設置した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 （詳細は〈10〉参照）	環境推進課
	<45>燃料電池自動車の普及に向けた支援（再掲 12）	○燃料電池自動車を新車購入した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 （詳細は〈12〉参照）	環境推進課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
資源循環	③ 循環ビジネスの活性化		
	1) 廃棄物・資源のリサイクルの推進		
	＜46＞公共施設や公共事業から発生する廃棄物・資源のリサイクルの推進（廃食用油のBDF化、剪定枝の堆肥化、焼却灰の熔融処理による熔融メタル化・熔融スラグ化等）	○生ごみ処理機設置済みの5つの保育園と、新たに生ごみ処理機を設置した1つの保育園で、毎日の給食調理中に発生した生ごみの一部を処理することで、焼却するごみが減少しました。	子ども課
		○給食センターや市内の公立保育園において給食の廃食用油を回収し、BDF化するために業者に回収・買取をしてもらい、有効利用を図りました。 (平成27年度実績) ・廃食用油回収量…14,014ℓ	環境推進課
		○ごみの減量化を目的とし、平成14年度に第一学校給食センターに、平成21年度に第二学校給食センターに生ごみ処理機を設置し、保守点検委託を実施しました。また、平成22年度より、給食残渣の一部を堆肥化するために食品リサイクル業者に収集・運搬委託を実施しました。 【決算額 5,719】	教育総務課
		○焼却灰を熔融処理し、熔融メタル化・熔融スラグ化を行いました。	刈谷知立 環境組合
	＜47＞下水汚泥等のバイオマス資源のリサイクル方法の検討	○燃料化を始めとした下水汚泥の有効利用手法の多角化に向け、愛知県との協議を行うための検討を行いました。	下水道管理課
	2) 循環ビジネスに取り組む事業者の支援		
	＜48＞事業者への支援制度（小規模企業者設備投資促進補助、新産業技術開発支援補助等）を活用した環境投資の推進（再掲40）	○事業の継続・拡大のために一定額以上の設備投資を行う小規模企業者に対して、補助金を交付しました。 (詳細は〈35〉参照) ○市内企業が公的試験機関であるあいち産業科学技術総合センター、名古屋市工業研究所及び公益財団法人科学技術交流財団あいちシンクロトン光センターが行う依頼試験等を利用した場合に係る費用の一部を補助しました。 (詳細は〈40〉参照)	商工業振興課
	＜49＞環境負荷低減に寄与する投資に対する支援方法の検討（再掲36）	○かりやeco事業所の認定を受けた事業所への環境低減に寄与する投資に対する支援方法の実施に向けた情報収集を行いました。（再掲36）	環境推進課

取組項目		実施状況（27年度）	担当部署
資源循環	④ 事業活動に伴う廃棄物の削減・適正処理		
	1) 各種法令に基づく廃棄物の削減・適正処理の監視・指導		
	<50>関係機関と連携した各種法令に基づく監視・指導	○建設工事における資材の分別解体と再資源化の義務化、特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る資材、木材、アスファルト・コンクリート）を用いる工事には事前届出が必要なことなどをホームページで啓発しました。	建築課
	2) 事業者の自主的な取組の促進		
	<51>事業系一般廃棄物の排出基準・処理手数料の見直しの検討	○学識経験者、各種団体の代表者、事業所関係者、関係行政機関の職員などで組織するごみ減量化推進会議で、ごみの減量化について調査・検討を実施しました。 (詳細は<17>参照)	ごみ減量 推進課
	<52>環境マネジメントシステムの導入支援（再掲 32）	○県と共催で環境マネジメントセミナー及びエコアクション21イニシアティブ・プログラムを開催し、市内事業者における環境マネジメントシステムの普及促進を図りました。 (再掲 32)	環境推進課

取組項目		実施状況（27年度）	担当部署
自然共生	⑤ 自然環境に配慮した事業活動・事業所づくり		
	1) 自然環境に配慮した事業所づくり		
	＜53＞民有地緑化補助の実施（再掲 27）	○緑化推進基金の運用益を活用し、市内民有地の屋上・生垣の緑化に対して補助を行いました。 （詳細は〈27〉参照）	公園緑地課
	＜54＞グリーンカーテンコンテスト（再掲 5）	○グリーンカーテンコンテストを開催し、市民・事業者等によるグリーンカーテン作成意欲を高めました。 （詳細は〈5〉参照）	環境推進課
	＜55＞工場立地法に基づく緑地の確保	○法の制限を受ける企業が緑地等の整備を行う際には、適正な立地が図られるように指導・助言をしました。	商工業振興課
	2) 自然環境に配慮した農業の推進		
	＜56＞環境保全型農業の普及啓発	○優良農地確保、保全を目的に農地パトロールを実施し、無断転用の解消に努めました。 ○新規就農支援制度を活用し、遊休農地の解消と就農支援を図りました。 【決算額 179】 ○衣浦東部広域行政圏環境と安全に配慮した農業推進協議会を通じて減農薬の推進、農業廃材の処理について啓発活動を実施しました。 ○認定農業者等の担い手農家への農地の面的集積を促進させ、優良農地の活用を推進するとともに、担い手農家の経営規模拡大と経営安定化を図り、農地を適正に管理することで緑地の保全と自然環境の維持に努めました。 【決算額 14,500】 ○農村環境の良好な保全と質的向上を図るため、地域住民が農業者と一緒に挙げて行う農業水利施設の維持・保全活動や関連する環境保全活動に対して指導、助言及び交付金の交付を行いました。 ・活動組織数…9 団体〈農地維持及び資源向上（共同）活動〉 7 団体〈資源向上（長寿命化）活動〉 【決算額 43,335】	農政課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
安 全 安 心	⑥ 率先した公害対策		
	1) 各種法令に基づく公害防止の監視・指導		
	<57>関係機関と連携した各種法令に基づく監視・指導	○環境基本条例の基本理念をもとに、事業者の環境の保全及び創造に向けた取組の積極的な推進を図るため、環境保全協定を締結しています。また、遵守状況の確認のため、立ち入り調査を実施しました。 ・協定締結事業所…27 社 31 工場	環境推進課
	2) 事業者の自主的な環境対策の促進		
	<58>環境保全協定締結	○環境基本条例の基本理念をもとに、事業者の環境の保全及び創造に向けた取組の積極的な推進を図るため、環境保全協定を締結しています。また、遵守状況の確認のため、立ち入り調査を実施しました。 (詳細は〈57〉参照)	環境推進課
	<59>かりや eco 事業所認定制度の検討・実施（再掲 37）	○平成 27 年度より eco 事業所認定制度を実施し、環境に配慮した取組を積極的に実施している事業所を「かりや eco 事業所」として認定しました。また、認定を受けた事業所に対し認証ステッカー等の配布を行い、認定事業所の一覧をホームページ等に掲載し、市民に対して P R を行いました。 (詳細は〈37〉参照)	環境推進課
	<60>環境マネジメントシステムの導入支援（再掲 32）	○県と共催で環境マネジメントセミナー及びエコアクション 21 イニシアティブ・プログラムを開催し、市内事業者における環境マネジメントシステムの普及促進を図りました。（再掲 32）	環境推進課

＜基本方針 3 持続可能な地域基盤づくり＞

【決算額単位：千円】

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
低炭素	① 低炭素型のまちづくり		
	1) 機能集約型のまちづくり		
	＜61＞優良建築物等整備事業等によるまちなか居住の促進	○まちなか居住を促進するため、施設を整備する 施行者に対して補助金を交付しました。 ・補助金交付件数…2 件 【決算額 272, 000】	市街地整備課
	＜62＞銀座地区の再整備	○道路の景観整備のため、電線類の地中化を図りました。 ・市道 2-496 号線…163m 【決算額 74, 330】	道路建設課
		○土地を整形化することで、都市基盤の再生及び高度有効利用の推進を図りました。 ・銀座 A B 地区…0. 67ha 【決算額 44, 684】	市街地整備課
	＜63＞刈谷駅北口周辺における交通まちづくりの推進	○刈谷駅北口周辺の路上駐車台数調査及び交通実態調査を行いました。 【決算額 886】 ○刈谷駅南北連絡通路の基本構想策定と予備設計を行いました。 【決算額 8, 608】 ○刈谷駅北口周辺交通まちづくりワークショップを開催しました。 ・開催回数…1 回	都市交通課
	2) エネルギーを効率よく利用するまちづくり		
	＜64＞防災拠点等への太陽光発電設備の導入	○平成 27 年度に、太陽光発電設備（蓄電池とモジュールが一体となったもの）を避難所にある防災備蓄倉庫の更新とともに設置しました。 ・設置箇所…4 箇所 ・富士松市民センター……60W ・愛知教育大学……………60W ・心身障害者福祉会館……60W ・日高小学校……………60W ○平成 27 年度に、太陽光発電設備を設置しました。 ・富士松南保育園……………10kW ○平成 27 年度に、太陽光発電設備を各施設に設置しました。 ・内訳：設置箇所……3 箇所 ・高齢者福祉センター……5kW ・産業振興センター…………10kW ・北部生涯学習センター…10kW 【決算額 81, 367】	危機管理課 子ども課 環境推進課 関係課室（危機管理課・各施設管理課室）
	＜65＞焼却施設の高効率発電及び余熱利用の推進	○燃焼ガスの廃熱を利用して蒸気を発生させ、発電と温水ブールに利用しました。	刈谷知立 環境組合
	＜66＞下水汚泥等のバイオマス資源のリサイクル(エネルギー利用)方法の検討（再掲 47）	○燃料化を始めとした下水汚泥の有効利用手法の多角化に向け、愛知県との協議を行うための検討を行いました。（再掲 47）	下水道管理課
	＜67＞防犯灯の L E D 化	○市内の防犯灯を蛍光灯から L E D 照明に取替えました。 ・取替数…2, 305 基 【決算額 62, 214】	くらし安心課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
低炭素	② 建物の低炭素化		
	1) 低炭素型住宅の普及		
	＜68＞低炭素建築物認定制度、長期優良住宅認定制度の普及啓発	○長期優良住宅並びに低炭素建築物新築等計画の認定申請を受付しました。 （平成 27 年度認定建物の件数） ・長期優良住宅…158 件 ・低炭素建築物…10 件	建築課
	2) 建築物の省エネルギー性能の向上		
	＜69＞C A S B E E あいちによる建築物の環境性能評価の普及啓発	○C A S B E E あいちに関連した県のパンフレットを窓口等で配布しました。	建築課
	＜70＞住宅性能表示制度の普及啓発	○住宅性能表示制度に関連した県のパンフレットを窓口等で配布しました。	建築課
	＜71＞再生可能エネルギー、省エネルギー設備の導入推進（太陽光発電、太陽熱利用システム、家庭用燃料電池設置費補助）（再掲 8・9・10）	○太陽光発電システムを設置した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 （詳細は〈8〉参照） ○太陽熱利用システムを設置した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 （詳細は〈9〉参照） ○高効率エネルギーシステム（エネファーム）を設置した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。 （詳細は〈10〉参照）	環境推進課
	3) 国産材やリサイクル材の利用の推進		
	＜72＞国産材やあいくる材の率先利用	○あいくる材については「愛知県あいくる材率先利用方針」に基づき、率先利用の促進を図りました。	各施設 管理課室

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
低 炭 素	③ エコモビリティネットワークの形成		
	1) 公共交通機関の利便性向上		
	<73>バス路線の再編計画の立案・実施	○刈谷市公共交通（バス交通）維持改善に関する調査を行いました。 【決算額 2,808】	都市交通課
	<74>主要駅やバス停における乗り継ぎの利便性の向上（バス停整備、駅舎改修等）	○利用者が快適にバスを利用できるよう、刈谷駅北口バス停及び総合健康センターバス停にベンチを設置しました。 【決算額 1,728】	都市交通課
	2) 自転車や歩行者の移動空間の確保		
	<75>自転車・歩行者道等の整備	○歩道の舗装をしました。 ・01-3 号線…335 m ² ・01-4 号線…231 m ² ・02-19 号線…416 m ² ・2-496 号線…576 m ² ・交差点改良…172 m ² ・01-25 号線…417 m ² 【決算額 266,250（歩道舗装以外も含む）】	道路建設課
		○総合運動公園と亀城公園を結ぶ逢妻川河川敷地の有効利用と市民の健康増進及び余暇の空間の創出のため、平成 24 年度までに総合運動公園から日高公園までの区間のサイクリングロードの整備を行いました。	公園緑地課
	<76>かりや自転車マップの配布	○平成 24 年度に、自然環境、公園等の情報を盛り込み、市民参加により作成した自転車マップを配付しました。 ・作成部数…3,000 部	環境推進課
	3) エコカーの普及に対応したまちづくり		
	<77>電気自動車・プラグインハイブリッド自動車用の充電インフラの整備	○無料開放している公共施設 12 箇所の普通充電スタンドについて、岩ヶ池公園においても運用を統一することで利用者の利便性向上を図りました。	環境推進課
	4) 鉄道駅からのCO ₂ の排出の少ない移動手段の確保		
	<78>駅前観光案内所における自転車や超小型電気自動車の貸出し	○駅前観光案内所において、レンタサイクルや超小型電気自動車「COMS」の貸出しを行いました。 ・平成 27 年度利用者数…340 人 【決算額 461】	文化観光課
	<79>駐輪場の整備・管理運営	○駐輪場における自転車の整理や指導により、駐輪場の効率的な利用を促進しました。	くらし安心課
		○定期的に巡視を行い、適切な維持管理に努めました。	土木管理課
		○駐輪場を整備することにより、自転車利用者の利便性の向上と違法駐輪を無くし、交通の安全と環境美化を図りました。 ・刈谷駅南口第 4 駐輪場…821 台 【決算額 57,267】	道路建設課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
資源循環	④ 廃棄物処理施設の整備・維持管理		
	1) リサイクル施設の整備・運営		
	＜80＞資源回収所や資源物選別施設、不燃物選別施設の整備・運営	○自治会が設置する常設の資源回収所の設置に対して補助を行いました。 ・設置箇所数…2 箇所 【決算額 964】 ○資源回収を実施している各地区の情報収集に努め、回収活動の効率化及び回収地域の拡大を図りました。	環境推進課
	2) 廃棄物の処理・処分施設の適切な維持管理		
	＜81＞焼却施設・粗大ごみ処理施設・埋立処分場の維持管理	○刈谷市不燃物埋立場から出る雨水等（浸出水）は浸出水分析（通常分析 12 回、詳細分析年 2 回）及びダイオキシン類分析（年 1 回）を実施し、正常値を保持して河川へ放流しました。また、処理施設の性能劣化について点検修繕を行いました。 【決算額 37,589】 ○ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設の維持管理を適正に行いました。	ごみ減量 推進課
			刈谷知立 環境組合
自然共生	⑤ 生態系ネットワークの形成を意識した自然環境の保全・創出		
	1) 緑・水辺の保全・創出		
	＜82＞ため池・社寺林の保全	○不法投棄ゴミの回収・撤去、空き缶拾いを市と地元とが協力して実施しました。	農政課
		○保存樹木に対して補助金を交付しました。 ・単木 1,169 本×1,000 円 ・樹林 275 a ×500 円 【決算額 1,307】	公園緑地課
		○牛池にて地元や大学と協力して池もみを実施し、外来種を駆除しました。	雨水対策課
	＜83＞公園緑地の整備・維持管理	○既存緑地の維持、管理に努めました。	公園緑地課
	＜84＞民有地緑化補助の実施（再掲 27）	○緑化推進基金の運用益を活用し、市内民有地の屋上・生垣の緑化に対して補助を行いました。（詳細は〈27〉参照）	公園緑地課
	＜85＞工場立地法に基づく緑地の確保（再掲 55）	○法の制限を受ける企業が緑地等の整備を行う際には、適正な立地が図られるように指導・助言をしました。（再掲 55）	商工業振興課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
自然共生	2）農地の保全・活用		
	<86>生産緑地地区・農用地区域の保全	○無断転用地について適法な状況となるよう是正指導し、周囲への被害防除措置を講ずるとともに、農地の適正な維持管理に努めました。	農政課
		○生産緑地法に基づき、市街化区域内での農地などの緑地機能の保全を図るため、都市計画決定により生産緑地を指定しました。 ・指定面積…44.9ha	まちづくり推進課
	<87>農業者に対する資金融資	○新規就農支援制度を活用し、遊休農地の解消と就農支援を図りました。 (詳細は〈56〉参照)	農政課
	<88>刈谷生きがい楽農センターにおける農業研修	○研修期間は1年間で、平成27年7月に第7期生20名が修了し、これまで140名の修了生を輩出しました。また、平成27年8月より第8期生20名が新たに受講を開始しました。	農政課
	<89>遊休農地を市民農園、景観農園として有効利用	○遊休農地であった農地を市民農園（2箇所、13区画、1,989㎡）として活用しています。 ○新規就農支援制度を活用し、遊休農地の解消と就農支援を図りました。 (詳細は〈56〉参照)	農政課
	<90>農地の集積・集約化	○認定農業者等の担い手農家への農地の面的集積を促進させ、優良農地の活用を推進するとともに、担い手農家の経営規模拡大と経営安定化を図り、農地を適正に管理することで緑地の保全と自然環境の維持に努めました。 (詳細は〈56〉参照)	農政課
	3）生態系ネットワークへの配慮		
	<91>道路・河川の緑化	○植栽をしました。 ・市道3-629号線…中木1本、低木24本 【決算額6,538（植栽以外も含む）】	道路建設課
		○既存の街路樹の維持、管理に努めました。	公園緑地課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
自然共生	4) 絶滅のおそれのある動植物種の保護及び外来種対策		
	<92>小堤西池のカキツバタ群落の保全	○カキツバタ群落保護のため、ボランティア参加により除草作業を実施しました。また、カキツバタ群落保存対策調査委員会を開催し、群落の保存対策について検討しました。 ・除草作業参加人数…延べ 409 人（9/3～6 日の 4 日間） ・保存対策調査委員会開催日数…2 回 【決算額 6,527】	文化観光課
	<93>市内の動植物の生息状況の調査	○愛知教育大学の協力の下、池もみ等実施し、池沼における動植物の生息状況を調査しました。	環境推進課 関係課室（文化観光課・農政課・雨水対策課）
	<94>外来種対策の普及啓発	○特定外来生物であるセアカゴケグモの情報をホームページにて発信し、普及啓発を行いました。	環境推進課
	<95>外来種の防除方法の検討	○国・県の動向を注視し、外来種の防除方法の情報収集に努めました。	環境推進課 関係課室（雨水対策課・文化観光課・農政課）
	⑥ 水処理施設の整備・維持管理		
	1) 水処理施設の計画的な整備・維持管理の推進		
	<96>下水道供用区域の拡大（再掲 23）	○下水道の計画的な整備を実施しました。（詳細は〈23〉参照）	下水道建設課
	<97>合併処理浄化槽設置整備補助の実施（再掲 25）	○合併処理浄化槽を設置した人で、一定の要件を満たす人に補助金を交付しました。（詳細は〈25〉参照）	環境推進課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
安 全 安 心	⑦ 継続的な調査・監視体制の整備		
	1) 継続的な調査・監視		
	<98>大気の常時監視	○市内各所において測定を実施しました。 ・ 大気…降下ばいじん測定 2 箇所 酸性雨調査 1 箇所 大気汚染測定局 3 箇所	環境推進課
	<99>水質調査	○市内各所において測定を実施しました。 ・ 水質…中小河川 10 箇所及び洲原池	環境推進課
	<100>騒音・振動測定	○市内各所において測定を実施しました。 ・ 騒音振動…環境騒音調査 13 箇所 交通騒音調査 10 箇所（うち、面的 評価 2 箇所） 常時騒音測定 1 箇所 交通振動調査 3 箇所	環境推進課
	<101>地盤沈下状況の監視	○毎月 1 回地下水位の測定を実施しました。 ・ 地下水位…(株)豊田自動織機 1 箇所	環境推進課
	<102>ダイオキシン類調査	○逢妻川において測定を実施しました。 ・ 水質…ダイオキシン類調査 1 箇所	環境推進課
	2) 調査・監視結果の情報提供		
	<103>環境調査結果の情報提供（「刈谷市の環境」の発行、ホームページへの掲載）	○市内各所において測定を実施し、「刈谷市の環境」やホームページで情報提供を行いました。 【決算額 10,961】 （詳細は <98>、<99>、<100>、<101>、<102> 参照）	環境推進課
	<104>光化学スモッグやPM _{2.5} 等の情報提供（メール配信、学校等への連絡等）	○光化学スモッグ予報発令時に、各課を通して施設や学校への連絡並びにメール配信等、市民への情報提供を迅速に行いました。	環境推進課
	<105>放射線測定器の貸出し	○希望者に対して、放射線測定器の貸出しを行い、身近な環境における放射線量を確認する機会を提供しました。	環境推進課

＜基本方針 4 参加と協働による環境都市づくり＞

【決算額単位：千円】

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
参加と協働による環境都市づくり	① 環境にやさしい人づくり		
	1) 環境学習・参加の機会の提供		
	<106>事業者・団体等との連携により環境学習を推進する仕組み「かりや環境学習ネットワーク（仮称）」の検討・構築	○「かりや環境学習ネットワーク（仮称）」の構築に向けた情報収集を行いました。	環境推進課
	<107>環境講座の開催	○市民を対象とした各種環境講座を実施し、環境に対する意識の向上を図るとともに、暮らしの中で環境問題に取り組むきっかけづくりに努めました。 (平成 27 年度実施内容) ・グリーンカーテンづくり講座…18 人 ・親子で川の生きもの調査…50 人 ・エコクッキング講座…50 人 ・生ごみ堆肥づくり講座…34 人 ・手あみ布ぞうりづくり講座…35 人 ・環境講演会…121 人 ・親子肩たたき棒づくり講座…17 人	環境推進課
		○ごみ減量、ごみ分別等に関する出前講座の実施を通し、環境保全行動の啓発、普及に努めました。	ごみ減量 推進課
		○大学連携講座において、環境関連の講座を実施しました。 ・開催数…1 講座 ・受講者数…17 人	生涯学習課
	<108>かりやエコポイント制度の普及	○環境学習や環境イベントの参加者へ、エコポイント制度の普及啓発を図るとともに、エコポイントを発行しました。	環境推進課
	<109>刈谷市環境キャラクターの活用推進	○環境キャラクター「キー坊」「ラビたん」「エピコ」の着ぐるみ等を活用し、環境フェア等のイベントで環境関連の情報発信を行いました。	環境推進課
	<110>環境フェアの開催	○わんさか祭りで、ボランティアや環境支援員の協力を得ながら環境フェアを開催しました。 ・かりやエコポイント啓発 ・アクリルたわし作り教室 ・紙すき体験、環境紙芝居の上演 ・エコモビ啓発 ・環境クイズ及び環境支援員活動発表 ・環境キャラクター「キー坊」「ラビたん」「エピコ」による環境関連啓発 ・MIRAI 展示	環境推進課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
参加と協働による環境都市づくり	2）子どもたちへの環境教育の実施		
	＜111＞小中学生及びその家族を対象としたエコライフデー（CO ₂ 削減量把握）の実施（再掲 4）	○小学 2 年生、小学 5 年生、中学 2 年生及びその家族を対象として、エコライフデーを実施しました。 （詳細は〈4〉参照）	環境推進課
	＜112＞環境学習プログラムの提供（環境副読本の作成、水生生物調査、ストップ温暖化教室の実施等）	○小・中学生を対象として、水生生物調査、ストップ温暖化教室、エコライフデーを実施しました。 ○市民を対象とした各種環境講座を実施しました。 （詳細は〈107〉参照）	環境推進課
		○ごみ減量、ごみ分別等に関する出前講座の実施を通し、環境保全行動の啓発、普及に努めました。（再掲 107）	ごみ減量 推進課
	＜113＞ユネスコスクールの登録・活動の推進	○学校内の国際理解教育を推進するため、刈谷北高等学校の教員に対し出前授業を行い、これを受講した教員が生徒に対し国際理解教育を進めていくことのできる土台作りを行いました。 ・授業実施回数…2 回	市民協働課
		○ユネスコスクールの登録・活動推進に向けた情報収集を行いました。	環境推進課 関係課室 （子ども課・学校教育課）
	＜114＞かりやエコスクール認証制度（仮称）の検討	○かりやエコスクール認証制度（仮称）に対し、実施に向けた情報収集を行いました。	環境推進課 関係課室 （学校教育課）
	3）指導者の育成		
＜115＞環境支援員の育成	○行政と市民の中間的な役割を担う環境支援員が、自主的な講座や催しを実施できるよう支援を行いました。	環境推進課	

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
参加と協働による環境都市づくり	② 各主体の連携・協働による社会・経済のグリーン化		
	1) 各主体の連携・協働による環境活動の促進		
	＜116＞リサイクル活動、美化活動、緑化活動、河川愛護活動等、地域の環境保全活動への支援	○自主的に資源回収を行う市民団体に報償金を交付しました。 （詳細は＜15＞参照）	環境推進課
		○ごみ分別収集協力報償金を交付することにより、分別の推進を図りました。 【決算額 4,665】	ごみ減量 推進課
		○市内の道路、河川などで清掃活動を行うボランティア団体に対し、ごみ袋の配布、保険加入料の負担などの支援を実施しました。（クリーンサポート刈谷） （詳細は＜20＞参照）	土木管理課
		○公園愛護会（遊園、児童遊園等含む）に活動補助金の交付等を行い、育成・活性化を図りました。 （詳細は＜20＞参照）	公園緑地課
		○地区（11 地区）が行う河川の清掃、草刈などの河川愛護活動に対し、報償金を交付しました。 （詳細は＜20＞参照）	雨水対策課
	＜117＞情報・人材交流のネットワーク形成促進（かりや衣浦つながるネットへの登録促進、わがまちのしゃべり場、わがまちのつむぎ場等）	○ボランティア団体に、市民活動情報サイト「かりや衣浦つながるネット」へ登録していただくことで、情報・人材交流のネットワーク化を図りました。また、市民ボランティア活動センターが、広域的な情報・人材交流ネットワークの拠点となり、環境美化活動に関するコミュニティづくりを支援しました。 ・かりや衣浦つながるネット登録団体数 …473 団体 【決算額 35,697】 ・わがまちのつむぎ場参加者数…171 人 【決算額 35,697】	市民協働課
	＜118＞市民活動支援基金「かりや夢ファンド」による支援	○市民が「刈谷のまちをよくしていくこと」を自ら自主的に行う活動の誕生・発展を応援することで、市民主体で解決する力を育んでいくことを目的とし、補助金を交付しました。 ・補助金交付件数…10 件 【決算額 676】	市民協働課
	＜119＞元気な地域応援交付金による支援	○自治会等が地域の課題を「自分ごと」としてとらえ、自らで解決するための取組に対し、元気な地域応援交付金を交付しました。 ・交付金交付件数…5 件 【決算額 2,677】	市民協働課

取組項目		実施状況（27 年度）	担当部署
参加と協働による環境都市づくり	2) 社会・経済のグリーン化に向けた取組の推進		
	<120>環境負荷低減に寄与する投資に対する支援方法の検討（再掲36）	○かりや eco 事業所の認定を受けた事業所への環境低減に寄与する投資に対する支援方法の実施に向けた情報収集を行いました。（再掲36）	環境推進課
	<121>グリーン購入、地産地消に関する普及啓発	○事業者の環境の保全及び創造に向けた取組の積極的な推進を図るため、環境保全協定を運用し、環境負荷の低減に資する原材料、部品、製品の使用に努めるよう促しました。 ・協定締結事業所…27 社 31 工場	環境推進課
	3) 行政による率先行動		
	<122>グリーン購入の実施（グリーン購入法適合品や環境ラベル等付与製品の購入）	○グリーン購入基本方針に基づき、全庁的にグリーン購入を実施しました。 ・平成27年度達成率…84.1%	全課室
	<123>エコカー（燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車等）、太陽光発電設備、省エネ機器等の率先導入	○平成 27 年度に、エコカーを 9 台導入しました。 ・購入車…6 台 （内訳）低排出ガス車…5 台 低燃費車…1 台 ・リース契約車…2 台 （低排出ガス車）※27 年 6 月より ・寄附車…1 台（低排出ガス車） 【決算額 11,584】※内 3,214 はリース契約車	財務課
		○平成 27 年度に、太陽光発電設備を各施設に設置しました。 （詳細は〈64〉参照）	環境推進課 （各施設管理課室）
	<124>国産材やあいくる材の率先利用（再掲72）	○あいくる材については「愛知県あいくる材率先利用方針」に基づき、率先利用の促進を図りました。（再掲72）	各施設 管理課室

